

令和元年度都城市総合防災訓練
庄内地区防災訓練報告書
令和元年 11 月 17 日（日）実施

みんなで作る 住みよいまち 庄内



庄内地区防災訓練本部



バケツによる消火訓練



ハイゼックス米炊き出し訓練



庄内分団 28 部による救出訓練



令和元年 12 月 25 日
庄内地区まちづくり協議会

目 次

ごあいさつ	1
訓練概要	2
防災訓練の経緯	3
自治公民館別訓練内容	4
自治公民館別安否確認把握表	5
避難行動要支援者安否確認把握表	6
庄内地区自治公民館別計画記入表	7
庄内地区避難行動要支援者安否確認報告書	8
都城市総合防災訓練庄内地区人員配置表	9
自治公民館長へのアンケート結果	11
庄内中学校生徒の感想	12
防災訓練のチラシ 10月15日各戸配布	13
防災訓練のチラシ 11月1日各戸配布	15
都城市総合防災訓練実施計画	別紙
都城市総合防災訓練『実動訓練』実施要領	別紙
都城市総合防災訓練写真集（危機管理課作成）	別紙

※ 本報告書は下記アドレスからダウンロードできます

<http://www.bonchi.jp/shonai/docu/bousai2019.pdf>

ごあいさつ

令和元年 12 月 25 日
庄内地区まちづくり協議会
会長 釘村 美千也

平成 28 年 4 月 14 日、熊本県においてマグニチュード 6.5 の地震が発生し、熊本県益城町で震度 7 を観測しました。また、16 日にはマグニチュード 7.3 の地震が発生し、益城町及び西原村で震度 7 を、熊本県を中心にその他九州地方の各県でも強い揺れを観測しました。死者 55 人、負傷者 1800 名以上、全壊約 8300 棟、住家被害計が 16 万棟、阿蘇地方など道路の決壊、熊本城も大きな被害を受けました。

わずか 2 年後の平成 30 年 9 月 6 日、北海道胆振地方中東部を中心にマグニチュード 6.7 の地震が発生し厚真町では震度 7 を記録しました。死者 43 人、負傷者 782 人、住宅の全壊 469 棟などの被害がありました。さらにこの地震では強震動によって厚真町を中心に広い範囲で土砂崩れが発生しました。いたるところ山肌が茶色くむき出しになっている画像を見たのも記憶に新しいところです。

これらの災害は他人事ではなく、この地区でも何らかの備えが必要だと考えておりましたところ、タイミング良く都城市総合防災訓練が、庄内地区を対象に実施されることが決まり、関係団体などと協議し計画を詰めて参りました。

令和元年 11 月 17 日（日）庄内地区全自治公民館や庄内中学校生徒・教職員の参加により、「南海トラフ～日向灘沖を震源とする『震度 6 弱』の地震」を想定した訓練を行いました。本報告書は訓練の内容につきまとめたものです。

庄内地区ではこの訓練をきっかけに、今後も何らかの形で防災訓練を続けていきたいと考えております。



訓練概要

11月17日（日）「南海トラフ～日向灘沖を震源とする『震度6弱』の地震」を想定した都城市総合防災訓練が庄内地区で行われ、多くの住民が参加した。

午前7時30分サイレンの合図で、それぞれの自治公民館（10館）ごとに訓練を開始し、各家庭ではまず自分の身を守る行動を行った。そのあと自治公民館の各班長は電話や、訪問しての確認など決められた手順で館員の安否確認を行った。近くの一時的避難所や自治公民館に避難訓練をしたところもあった。各班長は自治公民館長に結果を報告し、自治公民館単位で人員と家屋の被害状況を集約した。

庄内地区公民館には「庄内地区防災訓練本部」が置かれ、まち協役員や、庄内地区市民センター所長・副所長、庄内地区公民館長、都城市消防団関係者、庄内分団長・副分団長、民児協会長などが集まり、また各自治公民館から連絡員として副館長など10名が詰め、各自治公民館の情報収集に当たった。9時頃までには庄内地区公民館加入全世帯（1,975世帯）の安否確認が終了した。

また事前に都城市と「都城市避難行動要支援者名簿の個人情報の取扱いに関する協定書」を締結し、地区内の避難行動要支援者63名の名簿提供を受けた。各自治公民館長及び民生児童委員の協力により、当日は全員の安否確認を行うことができた。

午前9時30分より、庄内地区体育館で訓練開始式を実施し、地区住民及び庄内中学校教職員生徒、防災関係機関、都城市部局長等が参加、池田市長及び庄内地区まちづくり協議会釘村会長の挨拶及び諸連絡事項の伝達があり解散した。

庄内小学校体育館・教室・グラウンド、庄内地区体育館では関係機関「陸上自衛隊第43普通科連隊、宮崎河川国道事務所、宮崎地方気象台、九州農政局宮崎県拠点、宮崎県北諸県農林振興局、宮崎県都城警察署、宮崎県看護協会、日赤都城市地区、西日本電信電話株式会社、西日本高速道路株式会社、九州電力株式会社、アマチュア無線都城クラブ、防災土ネットワーク都城支部、都城市消防局」による体験訓練や展示などが実施され、庄内中学校生徒179名や地区住民80名は30名程度のグループに分かれ、すべての体験・研修に参加した。また多くの住民も訪れ、展示物の見学や初期消火訓練などに参加していた。

ボランティアセンター開設訓練は庄内地区社協とボランティア協議会が行い、午前8時30分庄内中学校生徒30名のボランティアの登録受付を行い、炊き出しの訓練に行くよう指示した。炊き出しは赤十字奉仕団庄内分団と食生活改善推進員が中学生と共に約600食のハイゼックス米を作り、自衛隊提供のカレーと共に参加者に提供した。

また初期消火訓練として中学生30名が参加、火災に見立てた焚火に向かってバケツで水を運び地元の消防団の指導により消火訓練をした。消防団（庄内分団第28部）はエンジンカッターを使った救出訓練も行った。鋼管やコンパネで作られた模擬家屋で救助訓練を行い、ダミーの負傷者を無事救出した。

すべての訓練は12時までに終了し、庄内地区体育館で訓練終了式を行った。まちづくり協議会の釘村会長の挨拶では「まず『自助』で自分の身を守ることが大事、次に『共助』だが、組織力がなくてはうまくいかない。幸い庄内地区は各組織がしっかりしているので、今後も訓練を重ねていざという時に備えたい」との話があった。

防災訓練の経緯

日 付	内 容
平成 30 年 12 月 6 日	まちづくり協議会運営委員会で都城市防災訓練について協議
平成 31 年 1 月 17 日	危機管理課より都城市防災訓練の計画原案提示
平成 31 年 3 月 7 日	危機管理課と防災訓練計画案について打合せ
令和元年 5 月 22 日	庄内地区防災訓練計画策定委員かい案内文書送付（46 名）
令和元年 6 月 12 日	危機管理課と打合せ
令和元年 6 月 18 日	庄内地区防災訓練計画策定委員会、まちづくり協議会運営委員会
令和元年 7 月 24 日	危機管理課と打合せ
令和元年 8 月 21 日	危機管理課と打合せ
令和元年 8 月 29 日	危機管理課と打合せ、庄内小学校教室借用
令和元年 9 月 30 日	都城市避難行動要支援者名簿の個人情報の取扱いに関する協定書締結
令和元年 10 月 3 日	10 月 17 日防災訓練関係者会議案内送付（庄内地区関係者）
令和元年 10 月 10 日	庄内中学校へ炊き出し訓練ボランティア参加の依頼（30 名）
令和元年 10 月 15 日	防災訓練告知チラシを全世帯配布
令和元年 10 月 17 日	防災訓練関係者会議（約 40 名参加）
令和元年 11 月 1 日	防災訓練告知チラシを全世帯配布
令和元年 11 月 7 日	自治公民館館長会議で打合せ
令和元年 11 月 14 日	危機管理課と打合せ
令和元年 11 月 15 日	炊き出し用鍋借用、市役所、高崎総合支所
令和元年 11 月 16 日	防災訓練準備（庄内小学校体育館・校庭及び庄内地区公民館） 午後 8 時前後に各消防団は明日防災訓練がある旨を消防車で広報
令和元年 11 月 17 日	都城市総合防災訓練 午前 7 時より各消防団は本日防災訓練がある旨を消防車で広報 午前 7 時 30 分サイレンの合図により訓練開始、終了 12 時 30 分
令和元年 11 月 18 日	炊き出し用鍋返還、市役所、高崎総合支所
令和元年 11 月 26 日	福祉課へ避難行動要支援者安否確認報告提出（63 名分）

自治公民館別訓練内容

自治公民館名	世帯数	班長の安否確認要領	自治公民館長の安否確認要領
乙房	445	一時避難・集合場所で確認	班長が自治公民館に集合し確認
平田	218	班長が各世帯に電話し確認	班長が自治公民館に集合し確認
川崎	140	一時避難・集合場所で確認	班長が自治公民館に集合し確認
関之尾	89	班長が各世帯に電話又は訪問し確認	班長が自治公民館に集合し確認
西区	246	班長が各世帯に電話し確認	班長が自治公民館に集合し確認
町区	106	班長が各世帯に電話し確認、その後一時避難・集合場所に集合	班長が自治公民館に集合し確認
東区	234	班長・民生委員が各世帯に電話又は訪問し確認	班長・民生委員が自治公民館長に電話報告し確認
今屋	197	班長が各世帯に電話し確認	班長が自治公民館長に電話報告し確認
千草	170	班長が各世帯に電話又は訪問し確認	班長が自治公民館に集合し確認
宮島	130	班長が各世帯に電話又は訪問し確認	班長が自治公民館に集合し確認

自治公民館別安否確認把握表（全体）

R元.11.17

	人 員				家 屋				
	軽傷	重症	死亡	安否不明	軽微	半壊	半焼	全壊	全焼
乙房 世帯数(445) 館員数(915) 報告 9:02	0	0	0	0	15	5	1	0	0
平田 世帯数(218) 館員数() 報告 10:00	0	0	0	32	0	0	0	0	0
川崎 世帯数(140) 館員数(416) 報告 8:45	0	0	0	0	0	0	0	0	0
関之尾 世帯数(89) 館員数(225) 報告 8:45	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西区 世帯数(246) 館員数() 報告 8:45	0	0	0	0	0	0	0	0	0
町区 世帯数(106) 館員数(210) 報告 8:43	3	0	0	22	0	0	0	0	0
東区 世帯数(234) 館員数() 報告 8:42	0	0	0	0	0	0	0	0	0
今屋 世帯数(197) 館員数(590) 報告 8:50	0	0	0	4	0	0	0	0	0
千草 世帯数(170) 館員数() 報告 8:37	1	1	0	13	0	1	0	1	0
宮島 世帯数(130) 館員数() 報告 8:50	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計 世帯数 (1,975) 館員数()	4	1	0	71	15	6	1	1	0

※ 被害を想定して訓練を行いました。実際に人員・家屋の被害が出たものではありません。

避難行動要支援者安否確認把握表

令和元年11月17日

地区	要支援者数	うち館員	うち館員外	確認済み	備 考
乙房	8	7	1	5	館長・班長が電話連絡 うち1名施設入所、電話に出ず3名
平田	6	6	0	5	民生児童委員が訪問又は電話確認、1名は訓練以前に死亡
川崎	3	3	0	3	防災隊が個別訪問 うち1名は実際に避難誘導実施
関之尾	2	1	1	2	館長及び民生児童委員が訪問
西区	13	9	4	13	館員、館員外とも班長が電話で確認、1名は届出電話番号が使われていない。館長が訪問し確認
町区	10	9	1	10	館員は班長等が訪問し確認、館員外は民生児童委員が訪問し確認。うち1名施設入所
東区	13	7	6	13	館員は班長が確認、館員外は民生児童委員が確認
今屋	1	1	0	1	民生児童委員が訪問し確認
千草	5	4	1	5	館員は班長が確認、館員外は民生児童委員が確認
宮島	2	2	0	2	班長が訪問し確認
合計	63	49	14	59	1名は訓練以前に死亡 未確認3名

都城市総合防災訓練 庄内地区自治公民館別計画

自治公民館名	自治公民館	世帯数		館員数	
--------	-------	-----	--	-----	--

館員安否確認要領

班長（分館長）の安否確認要領 ○または記入してください	① 一時避難（集合）場所での確認 ② 各館員からの電話又は口頭による確認 その他の方法
自治公民館長の確認要領 ○または記入してください	① 班長（分館長）が公民館に向いての確認 ② 班長（分館長）からの電話による確認 その他の方法

庄内地区防災訓練本部詰連絡員（庄内地区公民館）1名

--

7:30～9:20 本部にて所属自治公民館の状況を把握し本部に報告など。携帯電話使用

9:30～9:50 庄内地区体育館にて訓練開始式参加。その後避難所運営ゲーム・体験訓練に参加可

※庄内地区体育館は上履きが必要です

避難所運営ゲーム参加者名 2名

--	--

9:30～9:50 庄内地区体育館にて訓練開始式参加

10:00～12:00 庄内小学校体育館にて避難所運営ゲーム

12:20～12:30 庄内地区体育館にて訓練終了式参加

※各体育館は上履きが必要です

体験訓練参加者名 6名

9:30～9:50 庄内地区体育館にて訓練開始式参加

10:00～12:00 庄内地区体育館・庄内小学校体育館・教室・グラウンドにて各体験参加

※自治公民館参加者 60名を2グループに分け8つの体験に参加する

12:20～12:30 庄内地区体育館にて訓練終了式参加

※各体育館・教室は上履きが必要です

都城市総合防災訓練 庄内地区避難行動要支援者安否確認報告書

自治公民館	ページ /	ページ
-------	-------	-----

No.	登録者名	生年月日	性別	年齢	電話番号
住 所					公民館加入
					館員 館員外
誰がどのように安否確認したか					

No.	登録者名	生年月日	性別	年齢	電話番号
住 所					公民館加入
					館員 館員外
誰がどのように安否確認したか					

No.	登録者名	生年月日	性別	年齢	電話番号
住 所					公民館加入
					館員 館員外
誰がどのように安否確認したか					

取扱注意 コピー不可

都城市総合防災訓練庄内地区人員配置表

令和元年11月17日実施

庄内地区防災訓練本部（庄内地区公民館会議室）7:30～9:20

まちづくり協議会

人数

庄内地区まちづくり協議会	会長	釘村 美千也	1	訓練統括
//	副会長	福村 修	1	//
//	//	徳留 次男	1	//
//	//	今村 壮二	1	//
//	事務局長	朝倉 脩二	1	訓練統括事務
//	支援員	榎田 信子	1	//
			6	

各自治公民館連絡員

乙房自治公民館	副館長	海田 一則	1	自治公民館長との連絡・報告
平田自治公民館	//	福永 一義	1	//
川崎自治公民館	//	上柳 行雄	1	//
関之尾自治公民館	//	久松 秀一	1	//
西区自治公民館	前副館長	清水 経民	1	//
町区自治公民館	副館長	梶原 孝美	1	//
東区自治公民館	//	橋本 周二	1	//
今屋自治公民館	//	花盛 俊樹	1	//
千草自治公民館	//	鎌田 忠幸	1	//
宮島自治公民館		原口 速美	1	//
			10	

関係者

庄内地区市民センター	所長	中原 恭子	1	情報収集・都城市との調整
//	副所長	花堂 政浩	1	//
庄内地区公民館	館長	中村 光一	1	情報収集・都城市との調整
都城市消防団	副団長	長岡 幸博	1	庄内分団統括
都城市消防団都城方面隊庄内分団	分団長	池田 尚徳	1	//
前都城市消防団長		山元 寿一	1	消防団への助言など
民生委員児童委員協議会	会長	時任 國弘	1	避難行動要支援者支援
			7	

本部人数計	23
-------	----

庄内地区まちづくり協議会電話番号	0986-37-3488
庄内地区公民館電話番号	0986-37-0888

炊き出し訓練（庄内地区体育館西側）7:30～10:30～配食～12:00

赤十字奉仕団庄内分団	分団長	山下 和代	6	庄内中学生30名と共に600食のハイゼックス防災食を作る。自衛隊のカレーと共に配食する
庄内地区食生活改善推進協議会	会長	佐藤 とし	4	
庄内中学校ボランティア	3年生	8:45頃	30	
			40	

ボランティアセンター訓練（庄内小学校体育館）7:30～9:20

庄内地区社会福祉協議会	会長	福村 修	4	ボランティアセンターを開設し、模擬災害ボランティア（庄内中学生30名）を受け入れる
庄内地区ボランティア連絡協議会	会長	岩橋 文子	3	
都城市社会福祉協議会		井上 優子	1	
庄内中学生30名は8:30直接庄内小体育館へ集合、ピプス30枚用意			8	

初期消火訓練（庄内小学校グラウンド）8:30～9:20

庄内中学校生徒30名及び都城市消防団庄内分団の一部	40	バケツリレー消火
庄内中学生30名は8:30直接庄内小グラウンドへ集合		

避難所運営ゲーム（庄内小学校体育館）10:00～12:00

各自治公民館2名	20	防災士ネットワーク指導
----------	----	-------------

体験型訓練（庄内小体育館・地区体育館他）10:00～12:00

各自治公民館6名	60	1チーム30名で各体験を回る
庄内中学校生徒及び教職員	180	1チーム30名で各体験を回る
		240

安否確認、避難、救出、救助訓練（各自治公民館）7:30～9:00

世帯数

乙房自主防災隊	隊長	福田 幸実	445	それぞれの計画による
平田自主防災隊	//	松原 順一	218	//
川崎自主防災隊	//	花原 憲明	140	//
関之尾自主防災隊	//	石塚 悟	89	//
西区自主防災隊	//	栗山 義照	246	//
町区自主防災隊	//	溝ノ口 修一	106	//
東区自主防災隊	//	奥田 正幸	234	//
今屋自主防災隊	//	新地 幸三郎	197	//
千草自主防災隊	//	前田 和憲	170	//
宮島自主防災隊	//	今村 孝一	130	//
			1,975	

自治公民館長へのアンケート結果

①. 今回の防災訓練で良かった点

実働訓練（自治公民館別 7:30～9:00）について

- ・要領、段取りはもう少し工夫が必要だが初めてにしては真剣に取り組んだ。
- ・住民の協力もあり、スムーズに訓練ができた。
- ・消防団への救出依頼も口頭ではなくて本部を通じて行ったので（電話ではなくて無線を通じての伝達だったので）多くの団員に同時に連絡することができた。
- ・実際に防災訓練を住民全員で行えたことが良かった。
- ・公民館では防災訓練をしていなかったもので、どのような方法で訓練するのか少しは分かって良かった。

体験型訓練（10:00～12:00）について

- ・救出訓練は良かった。
- ・避難所運営ゲームに参加したが、多種多様な人々が避難所に来る想定であり、即座の判断が求められ居住場所分割に苦労した。
- ・災害時には行わなければならないことが色々あることが分かって良かった。
- ・いろいろな体験が出来て良かった。

②. 今回の防災訓練で出た課題

実働訓練（自治公民館別 7:30～9:00）の課題について

- ・前日は文書、当日は消防車の広報と連絡したが、実際は家庭まで伝わっていなかった。訪問してみると今日は何事かと聞かれた。
- ・災害の経験がないから他人事のように考えている人もいた。
- ・今まで防災隊の組織表はあったが全く機能していなくて、今回の訓練で初めて自分の役割を知った人が多かった。
- ・初回のことであり、訓練は訓練でしかなかった。7時30分に防災隊員に集合してもらったが、隊員もまず自分（家族を含む）の身の安全を確保してからの活動になるので、確認及び救助活動開始時刻はずっと遅くなるのではないか。何回も繰り返し行わなければ意味はない。
- ・安否確認を本当の地震・災害の時にできるか不安になった。とてもむずかしいと感じた。
- ・班長・民生委員・消防団員＞分館長＞自治公民館長＞本部、この連絡体制が確立されていなかった。
- ・公民館未加入者の安否確認方法を決めておくことが必要。
- ・乙房地区ではサイレンの音は聞こえなかった。
- ・防災組織図は各種団体と協議し、実情に合ったものを作成しなおす。
- ・住民は防災に対する認識が薄いので、まず意識を持ってもらうのが第一ではないだろうか。
- ・自主防災隊の自分の役割を十分に知っておく必要がある。

体験型訓練（10:00～12:00）の課題について

- ・一時集会所（避難所）の膨大な仕事量を瞬時に判断し、指示し、物資の仕分け、外部との連絡等組織だったものを作っておく必要性を感じた。

- ・避難する人を受け入れる判断基準作成が必要と感じた。
- ・避難所の平面図に救援物資の保管場所、寝床、トイレなど生活に必要な物を書き込み、あらかじめ決めておくことが必要。
- ・避難所にどんな器具があるのか何が使えるのか事前の点検確認が必要。

③. 来年度以降の訓練について

- ・今後地区全体で実施するとしたらまち協主体の計画で行うべき。
- ・訓練に住民の協力理解を得なければならないが機会があれば行いたい。
- ・地区全体で行うことは意識付けで大事であると思う。
- ・係だけでなく全員に意識づけるために大事。
- ・地区の方に具体的な体験をしてもらえらる。
- ・高齢化が進み集まることがむずかしい。

庄内中学校生徒の感想

◎今日学んだことをしっかりと家族にも伝えて、避難経路の確認や避難する場所の話合いを行い、安全に避難できるようにしておきたい。[1年]

◎今日の防災訓練で学んだことの1つは、自分が実際に危ない状況になった場合にどう対応すればよいか、もう1つは、消火器の使い方、担架の作り方、止血の仕方など、身の回りのものが役立つということです。[1年]

◎今での防災訓練と違って、1つ1つ本格的に訓練できました。特に煙が充満している部屋を体験した時、まったく前が見えずに焦ってしまうと大変なことになることを実感できました。[2年]

◎私が今日自宅ですぐにしておかないといけないと思ったことは、火災報知器を付けたり、水や食料を蓄えておいたりすることです。また、実際に災害に起こったときには「ダイヤル171」を使って家族に安否を伝えることが大切です。実際に見て体験して学んだことを、少しでも多くの人に役立てるように災害時には頑張りたいです。[2年]

◎私は今日のこの体験を通して、災害時には周りの人と協力するということを忘れないようにしたいです。協力することで、多くの人が助かると思うので、今日の体験はとても大切なことであると思いました。実際に災害が起きたとしても、焦らずに自分を守る行動もしたいです。[3年]

◎今日の防災訓練で学んだことは、ご飯の準備の大変さです。災害が起こったときに、地域の方々や自衛隊の人たちがこのようなことをしている大変さがよく分かりました。[3年]

総合防災訓練が庄内地区で 実施されます！

庄内地区まちづくり協議会
会長 釘村 美千也

1 訓練目的

庄内地区まちづくり協議会が主体となり計画する「自助」「共助」に関する実動訓練と防災関係機関が担当する体験型訓練を実施し、防災意識の高揚と災害対処能力の向上を図る。

2 日時

(1) 令和元年11月17日(日) 7:30~12:30

(2) 訓練時程表 裏面

3 場所

庄内地区全域及び庄内小学校周辺地域

4 主催

都城市

5 主管

庄内地区まちづくり協議会

6 訓練参加機関等

(1) 庄内地区

庄内地区住民、庄内地区まちづくり協議会所属各団体、庄内中学校

(2) 防災機関等

陸上自衛隊第43普通科連隊、宮崎河川国道事務所、宮崎地方气象台、九州農政局宮崎県拠点、宮崎県北諸県農林振興局、宮崎県都城警察署、宮崎県看護協会、日赤都城市地区、西日本電信電話株式会社、西日本高速道路株式会社、九州電力株式会社、アマチュア無線都城クラブ、防災士ネットワーク都城支部、都城市消防局

7 訓練想定

南海トラフ～日向灘沖を震源とする「震度6弱」の地震

当日は地震発生を想定して朝7時30分にサイレンを鳴らします。まず各家庭においては丈夫な机やテーブルなどの下にもぐり、机などの脚をしっかりと握りましょう。また、頭を座布団などで保護して、揺れが収まるのを待ちましょう。

揺れがおさまって避難する時には、電気のブレーカーを切り、ガスの元栓を閉めましょう。外に出るときも周囲の確認を。ガラスや看板等が落ちてくる可能性があります。我が家の安全を確認後、近所にも声をかけて安否を確認しましょう。

実際に避難訓練や安否確認をするかどうかは、それぞれの自治公民館ごとに決めます。

11月初旬の広報でお知らせします。

時間	7:30	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00
実動訓練	地震発生	安否確認、避難訓練		訓練開始式		訓練終了式
		救出・救助訓練				
		ボランティアセンター訓練				
		初期消火訓練				
			炊出し訓練			
体験型訓練					避難所体験	訓練終了式
					緊急通報体験	
					災害伝言ダイヤル体験	
					応急救護体験	
					応急担架搬送体験	
					初期消火体験	
					濃煙体験	
					避難所運営ゲーム	
			装備品・炊出し研修			

区分	時間	訓練・研修内容	場所	訓練担当	訓練参加者等
実動訓練	7:30~9:20	安否確認 避難・誘導	地区全域 地区公民館	まちづくり協議会 (各専門部会)	庄内地区住民
		ボラセン運営	小学校体育館		
		初期消火	小学校グラウンド		
		救出・救助	地区特定場所		
	8:30~10:30	炊出し(主食)	地区体育館駐車場		
訓練開始式 9:30~9:50 地区体育館					
体験型訓練	10:00~12:00	避難所体験	小学校体育館	都城市	まちづくり協議会 (約60名基準) 庄内中学校 (約180名基準)
		応急救護体験	地区公民館	宮崎県看護協会	
		担架搬送体験		都城市消防局	
		初期消火体験	小学校グラウンド	消防団庄内分団	
		濃煙体験		都城市消防局	
		緊急通報体験	小学校教室	西日本電信電話	
		災害伝言体験			
	装備品等展示	小学校グラウンド (JA駐車場)	各防災機関等		
避難所運営 ゲーム	小学校体育館	宮崎県防災士 ネットワーク	各自治公民館代表者 (2名)		
	8:30~10:30	炊出し(副食)	公民館駐車場	陸上自衛隊	
訓練終了式 12:20~12:30 地区体育館					

11月17日(日)

総合防災訓練が庄内地区で実施されます！

庄内地区まちづくり協議会
会長 釘村 美千也

南海トラフ～日向灘沖を震源とする「震度6弱」の地震が発生！
を想定した訓練です。

当日は地震発生を想定して朝7時30分にサイレンを鳴らします。まず各家庭においては丈夫な机やテーブルなどの下にもぐり、机などの脚をしっかりと握りましょう。また、頭を座布団などで保護して、揺れが収まるのを待ちましょう。

揺れがおさまって避難する時には、電気のブレーカーを切り、ガスの元栓を閉めましょう。外に出るときも周囲の確認を。ガラスや看板等が落ちてくる可能性があります。我が家の安全を確認後、近所にも声をかけて安否を確認しましょう。

実際に避難訓練や安否確認をするかどうかは、それぞれの自治公民館ごとに決めます。 **東区の計画は裏面をご覧ください。**

問い合わせ先：庄内地区まちづくり協議会

電話番号：37-3488

令和元年度

都城市総合防災訓練実施計画

令和元年10月30日

都 城 市
庄内地区まちづくり協議会

2019/10/30

訓練計画-1

1 訓練目的

庄内地区まちづくり協議会が主体となり計画する「自助」「共助」に関する実動訓練と防災関係機関が担当する体験型訓練を実施し、防災意識の高揚と災害対処能力の向上を図る。

2 日時

- (1) 令和元年11月17日(日) 7:30~12:30
- (2) 訓練時程表 別紙1

3 場所

- (1) 庄内地区全域及び庄内小学校周辺地域
- (2) 会場全般図 別紙2
- (3) 訓練会場配置図 別紙3
- (4) 駐車場等配置図 別紙4

4 主催

都城市

5 主管

庄内地区まちづくり協議会

6 訓練参加機関等

- (1) 庄内地区
庄内地区住民、庄内地区まちづくり協議会所属各団体、庄内中学校
- (2) 防災機関等
陸上自衛隊第43普通科連隊、宮崎河川国道事務所、宮崎地方気象台、九州農政局宮崎県拠点
宮崎県北諸県農林振興局、宮崎県都城警察署、宮崎県看護協会、日赤都城市地区
西日本電信電話株式会社、西日本高速道路株式会社、九州電力株式会社、アマチュア無線都城クラブ
防災士ネットワーク都城支部、都城市消防局

2019/10/30

訓練計画-2

7 訓練想定
南海トラフ～日向灘沖を震源とする「震度6弱」の地震

8 訓練の概要

- (1) 訓練実施要領 別紙5
- (2) 実動訓練実施要領 別紙6
- (3) 体験・研修要領 別紙7
- (4) 体験・展示等実施要領 別紙8

9 管理事項

- (1) 資器材等配分計画 別紙9
- (2) 訓練参加者の昼食は、炊出し食を配分

10 その他

- (1) 訓練開始・終了式実施要領 別紙10
- (2) 訓練実施の判断基準 別紙11

2019/10/30

訓練計画-3

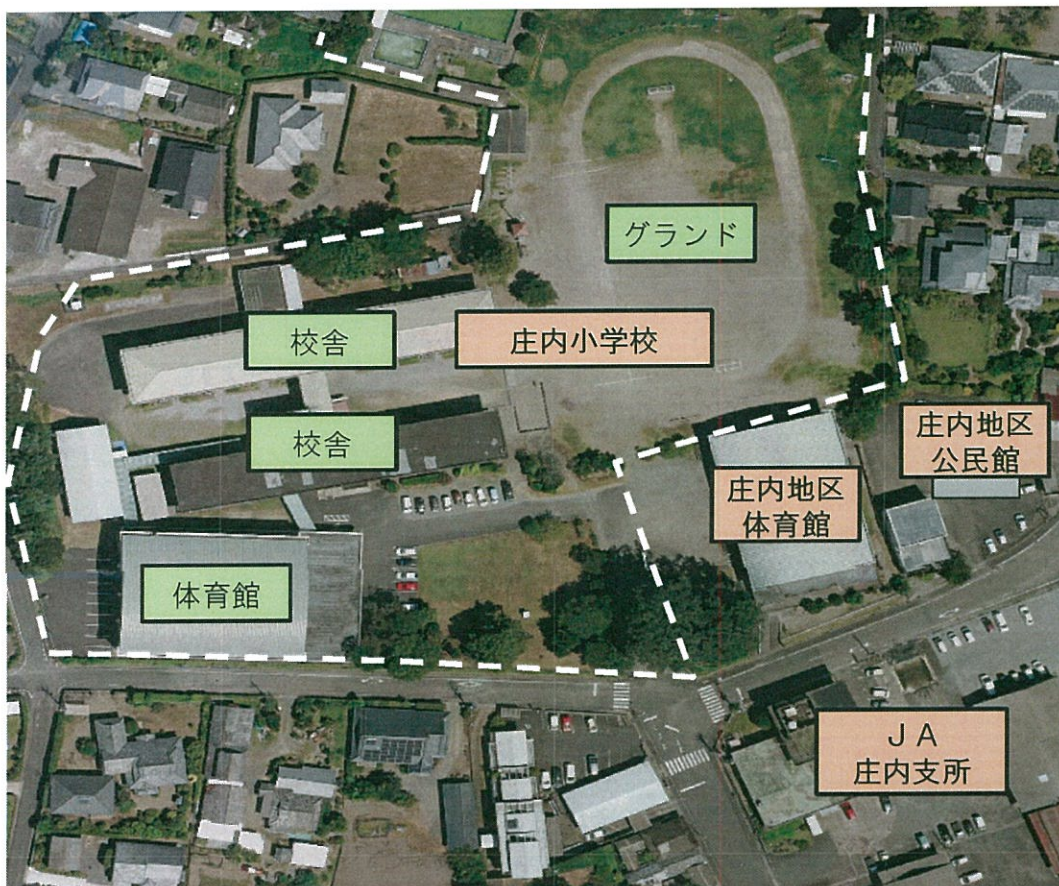
訓練時程表

別紙1

時間	7:30	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00
実動訓練	地震発生	安否確認、避難訓練	ホ*ランティアセンター訓練	初期消火訓練	炊出し訓練	救助訓練展
		救出・救助訓練				
体験型訓練				訓練開始式	避難所体験	訓練終了式
					緊急通報体験	
					災害伝言ダイヤル体験	
					応急救護体験	
					応急担架搬送体験	
					初期消火体験	
					濃煙体験	
					避難所運営ゲーム	
					装備品・炊出し研修	

2019/10/30

訓練計画-4



2019/10/30

訓練計画-5

訓練会場配置図

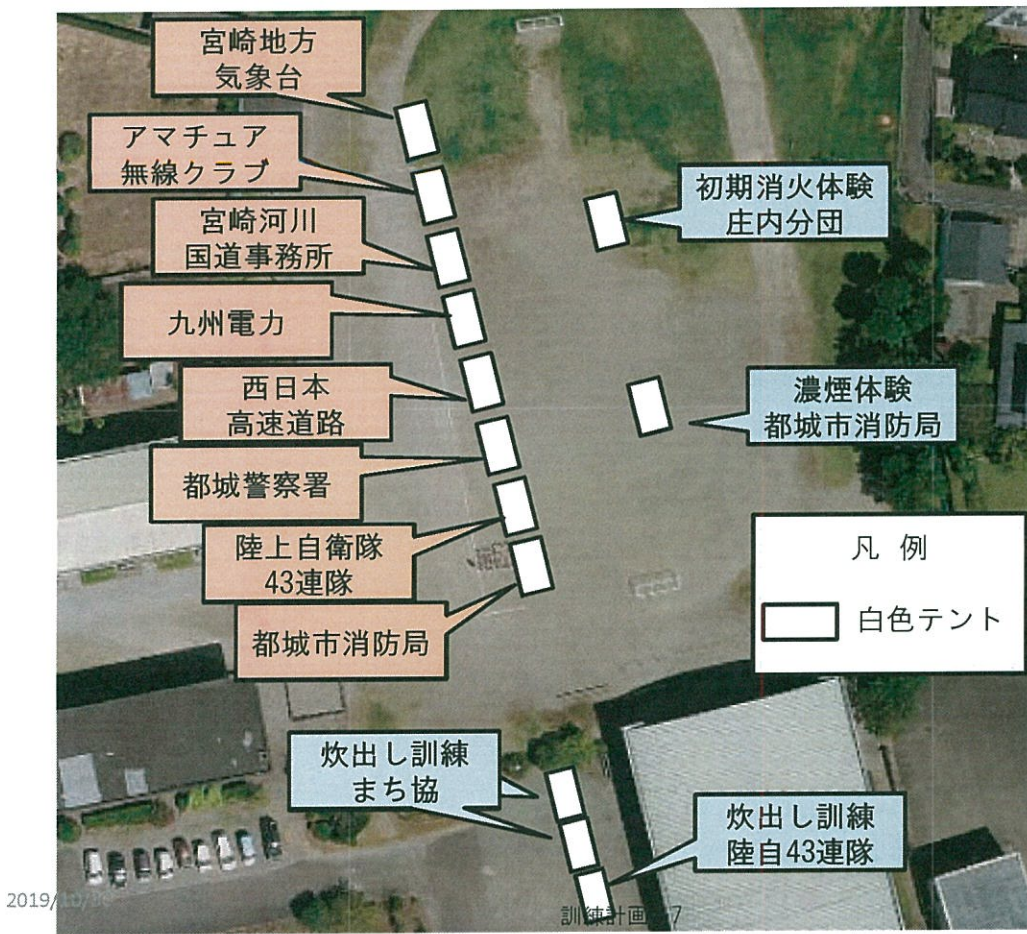


2019/10/30

訓練計画-6

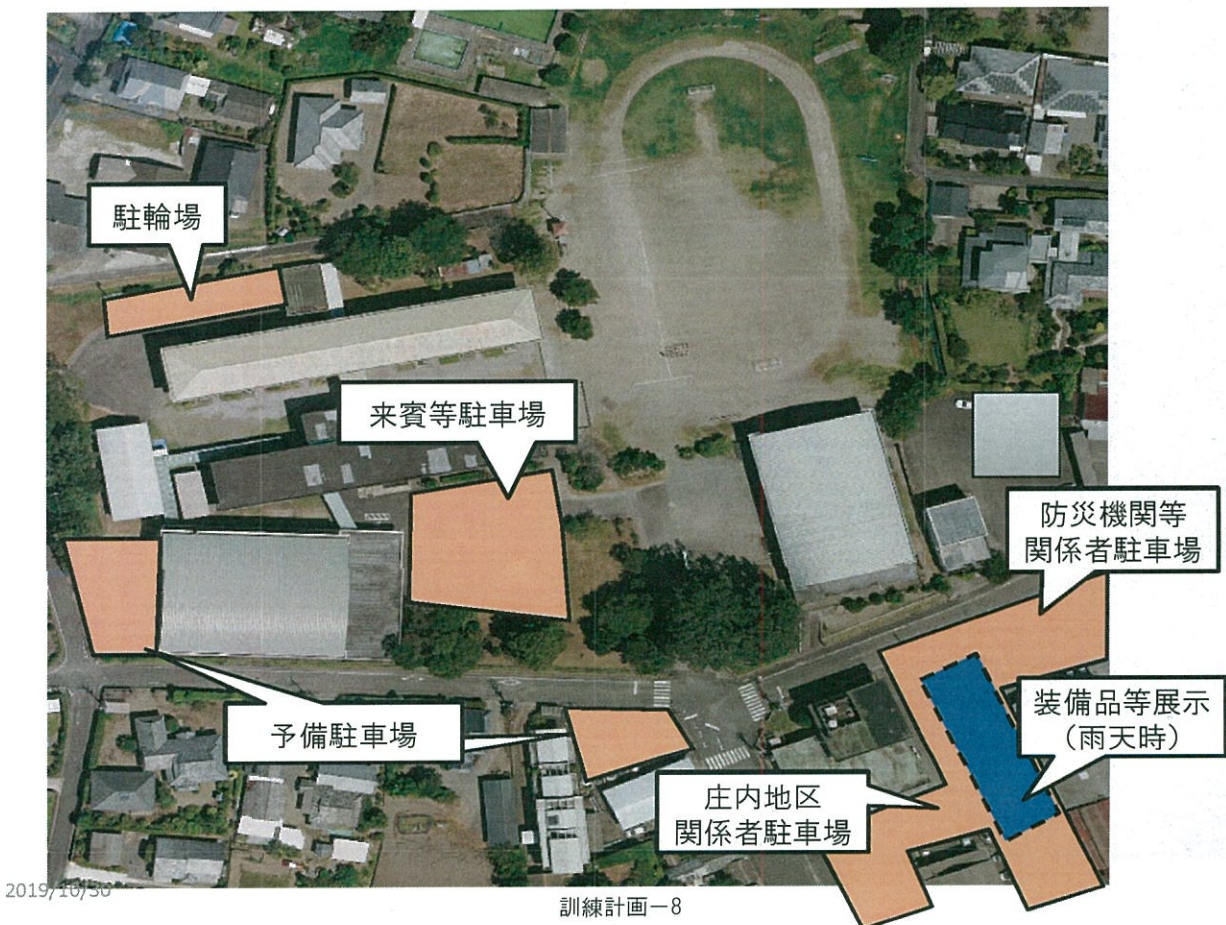
装備品等展示配置図

属紙



駐車場等配置図

別紙4



訓練実施要領

別紙5

区分	時間	訓練・研修内容	場所	訓練担当	参加者等
実動訓練	7:30~9:20	安否確認 避難・誘導	地区全域 各自治公民館	まちづくり 協議会 (各専門部会)	庄内地区住民
		ボラセン運営	小学校体育館		
		初期消火	小学校グラウンド		
	救出・救助	地区特定場所			
8:30~10:30	炊出し(主食)	地区体育館駐車場			
訓練開始式 9:30~9:50 地区体育館				全員参加(炊出し要員、装備品監視員除く)	
体験型訓練	10:00~12:00	救助訓練展示	小学校グラウンド	消防団庄内分団	まちづくり協議会 (約60名基準) 庄内中学校 (約180名基準)
		避難所体験	小学校体育館	都城市役所	
		応急救護体験	地区体育館	宮崎県看護協会	
		担架搬送体験		都城市消防局	
		初期消火体験	小学校グラウンド	消防団庄内分団	
		濃煙体験		都城市消防局	
		緊急通報体験	小学校教室	西日本電信電話	
		災害伝言体験			
	装備品等展示	小学校グラウンド (JA駐車場)	各防災機関等		
	避難所運営 ゲーム	小学校体育館	宮崎県防災士 ネットワーク	各自治公民館代表者 (2名)	
8:30~10:30	炊出し(副食)	地区体育館駐車場	陸上自衛隊		
訓練終了式 12:20~12:30 地区体育館				全員参加(炊出し要員、装備品監視員除く)	

2019/10/30

訓練計画-9

令和元年度 都城市総合防災訓練

『実動訓練』実施要領

2019/10/30

訓練計画-11

1 訓練の前提

(1) 訓練参加者

自治公民館加入全世帯（人員）、まちづくり協議会所属各団体、庄内中学校職員・生徒を対象とする。ただし、災害時要配慮者については、事前に各自治公民館長が参加を依頼し、了承を得た方々を対象とする。

(2) 訓練実施の事前周知

10月及び11月の回覧板等で防災訓練実施の周知と館員への参加を呼びかける。

2 安否確認・避難訓練

(1) 地震発生のお知らせ

防災訓練実施の周知に合わせて、当日の7:30に地震が発生し、消防サイレン及び巡回広報により告知することを予令する。

(2) 安否確認要領

ア 班長（分館長）の確認要領は、次のいずれかによる。

(ア) あらかじめ班（分館）ごとに決められた一時避難（集合）場所での確認

(イ) 各館員からの電話又は口頭による確認

イ 公民館長の確認要領は、次のいずれかによる。

(ア) 班長（分館長）が公民館に向いての確認

(イ) 班長（分館長）からの電話による確認

ウ まち協本部の確認要領

各公民館長からの電話による確認

エ 安否不明者の確認要領

班長（分館長）は、不明者に電話をするか、又は担当者を不明者宅に派遣して確認する。

オ 報告（確認）要領

(ア) 報告（確認）要領は、付紙「安否確認把握表」により報告する。

(イ) 報告の統制

・ 班長（分館長）から公民館長への報告 8:20～8:40

・ 公民館長からまち協本部への報告 8:40～9:00

2019/10/30

訓練計画-12

- (3) 避難訓練要領
避難訓練は、以下の基準により各自治公民館長の計画とする。
ア 各班（分館）ごと又は公民館で定めた一時避難場所までの行動とし、指定一次避難所（庄内小学校）までの避難は実施しない。
イ 災害時要配慮者の避難は、最低1名（模擬配慮者でも可）に対する避難支援を実施する。
- (4) 安否確認・避難訓練終了の条件
ア 班長（分館長）が公民館長への報告、公民館長がまち協本部への報告完了をもって終了する。
イ 報告終了後は、後段の体験型訓練に参加する者を除き解散とする。

3 救出・救助訓練

- (1) 消防団員の行動
ア 前日（16日）に各部の担当地区を巡回し、訓練当日（17日）の7：30に消防サイレンと同時に地震発生を想定した防災訓練が開始されることを周知する。
イ 地震発生（7：30）後の行動は、分団長の指揮（指示）により行動するものとする。
- (2) 救出・救助、消火活動に関する行動の統制
ア 救出・救助、消火活動に関わる状況は、統制部が作成する状況付与計画に基づき住民、公民館長（班・分館長）及びまち協本部から、文書（状況付与カード）・口頭・模擬被害者等により付与する。
イ 救出・救助、消火活動は、次の要領で開始するものとする。
 - (7) 被災者を団員自らが発見した場合
 - (4) 災害現場の住民、又は最寄りの公民館長から要請を受けた場合
 - (9) まち協本部から分団本部が要請を受け、分団長から命令された場合
- ウ 救出・救助、消火活動の終了の条件
 - (7) 救出・救助活動
その場において所要の処置（応急手当など）を実施し、分団本部に報告をもって終了する。
 - (4) 消火活動
鎮火（完全消火）し、分団本部に報告をもって終了する。

4 ボランティアセンター訓練（庄内地区社会福祉協議会担当）

- (1) 開設場所
庄内小学校体育館内
2019/10/30
- 訓練計画-13
- (2) 開設の時期
庄内地区社協関係者は地震発生後の安否確認・避難訓練が終了後に参集する。
 - (3) 開設の場所
庄内小学校体育館内とする。
 - (4) 模擬災害ボランティア
庄内中学校生徒（30名基準：細部は学校が選出）とし、センター開設後に集合させる。
 - (5) 活動（支援）内容
ボランティア活動受付、赤十字奉仕団庄内分団・食生活改善推進員協議会が担当する炊出しの支援（まち協ピブスを着用させる）

5 初期消火訓練

- (1) 場 所
庄内小学校グラウンド（北側）
- (2) 参加者
消防団庄内分団の一部（細部は分団の計画）及び庄内中学校生徒（40名基準）
- (3) 消火要領
バケツリレー
- (4) 訓練の想定
地震発生後、庄内地区の一次避難所（庄内小学校体育館）近傍で火災が発生し、避難所に集まっていた中学生と消防団員が協力し初期消火を実施する。
- (5) 準備事項
ア 消防団装備の1t水のうを地区体育館北側に設置する。
イ まち協事務局でバケツ20個を準備する。

6 炊出し訓練

- (1) 赤十字奉仕団庄内分団・食生活改善推進員協議会担当
ア 資器材、水・無洗米等の準備
 - (7) 資器材（釜、ハイゼックス等）及び無洗米は、まち協（日赤奉仕団）の計画により、600食分を前日（16日）までに準備する。
 - (4) 水（500mペットボトル）は、危機管理課が備蓄飲料水を準備する。

2019/10/30

イ 訓練開始の態勢

(7) 安否確認・避難訓練への参加

7:30地震発生時は自宅において、安否確認・避難訓練に参加した後に地区体育館へ参集する。

(4) 庄内中学校生徒（模擬災害ボランティア）の支援

庄内中学校生徒の支援は、ボランティアセンターでの受付等が終了後に開始する。

ウ 配食

自衛隊等と協力して各参加機関等単位に配食する。

(2) 自衛隊担当

ア 資器材・食材等の準備

(7) 炊事所開設資器材（給食用クーラー、オタマ等を含む）は自衛隊が準備する。

(4) 食材等は、危機管理課が調達し事前に自衛隊に預託する。

(7) 給食用の容器、ゴミ袋等は危機管理課が準備する。

イ 訓練開始の態勢

(7) 食材の下準備は自衛隊側の計画で実施する。

(4) 当日は9:00までに炊事所を開設し、炊出しを開始する。

ウ 配食

赤十字奉仕団庄内分団・食生活改善推進員協議会等と協力して各参加機関等単位に配食する。

安 否 確 認 把 握 表
(班長・分館長用)

世帯主名 (家族数)		異 常 の 有 無		
		人 員	家 屋	そ の 他
庄内	太郎(2)	異常なし	異常なし	
乙房	二郎(3)	軽傷 1	軽 微	
平田	三郎(1)	●連絡とれず		
川崎	四朗(4)	重傷 1 ※要救助		
千草	五郎(3)	異常なし	半焼	
合計	20世帯	軽傷 ○名 重傷 ○名 死亡 ○名	軽微 ○軒 半壊 ○軒 半焼 ○軒	
	35名	安否不明 1名 (平田さん)	全壊 ○軒 全焼 ○軒	

安否確認把握表
(公民館長用)

世帯数 (館員数)		異常の有無		
		人員	家屋	その他
1班	20(35)	軽傷 ○名 重傷 ○名 死亡 ○名 安否不明 ○名	軽微 ○軒 半壊 ○軒 半焼 ○軒 全壊 ○軒 全焼 ○軒	
2班	15(30)	軽傷 ○名 重傷 ○名 死亡 ○名 安否不明 ○名	軽微 ○軒 半壊 ○軒 半焼 ○軒 全壊 ○軒 全焼 ○軒	
3班	10(18)	軽傷 ○名 重傷 ○名 死亡 ○名 安否不明 ○名	軽微 ○軒 半壊 ○軒 半焼 ○軒 全壊 ○軒 全焼 ○軒	
合計	45世帯	軽傷 ○名 重傷 ○名 死亡 ○名	軽微 ○軒 半壊 ○軒 半焼 ○軒 全壊 ○軒	
	83名	安否不明 ○名	全壊 ○軒 全焼 ○軒	

2019/10/30

訓練計画-17

安否確認把握表
(まち協本部用)

世帯数 (館員数)		異常の有無		
		人員	家屋	その他
〇〇公民館	45(83)	軽傷 ○名 重傷 ○名 死亡 ○名 安否不明 ○名	軽微 ○軒 半壊 ○軒 半焼 ○軒 全壊 ○軒 全焼 ○軒	
〇〇公民館	60(120)	軽傷 ○名 重傷 ○名 死亡 ○名 安否不明 ○名	軽微 ○軒 半壊 ○軒 半焼 ○軒 全壊 ○軒 全焼 ○軒	
〇〇公民館	20(35)	軽傷 ○名 重傷 ○名 死亡 ○名 安否不明 ○名	軽微 ○軒 半壊 ○軒 半焼 ○軒 全壊 ○軒 全焼 ○軒	
合計	125世帯	軽傷 ○名 重傷 ○名 死亡 ○名	軽微 ○軒 半壊 ○軒 半焼 ○軒 全壊 ○軒	
	238名	安否不明 ○名	全壊 ○軒 全焼 ○軒	

2019/10/30

訓練計画-18

体験・研修要領（基準）

別紙7

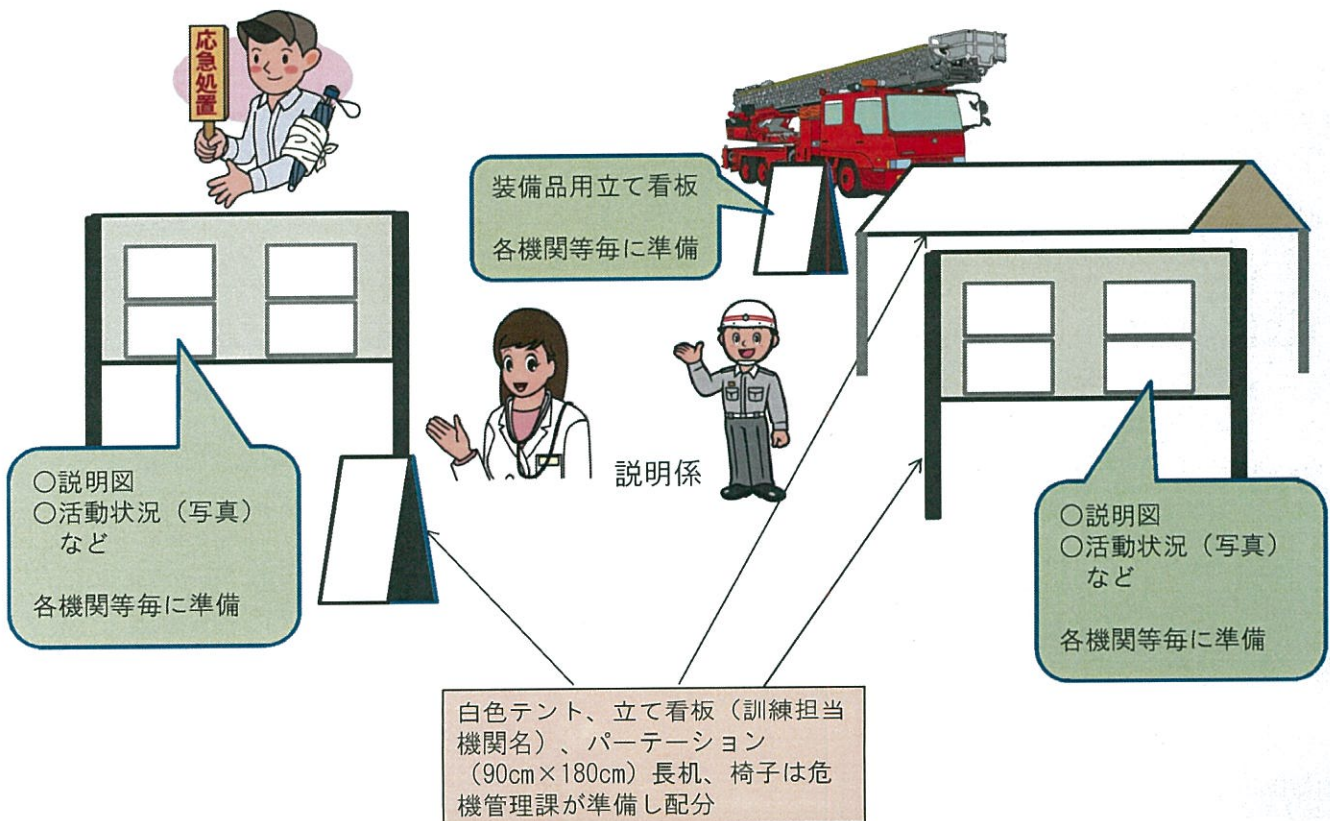
訓練課目等		救助訓練展示	避難所体験 ①	緊急通報体験 ②	災害伝言体験 ③	応急救護体験 ④	応急担架搬送体験 ⑤	濃煙体験 ⑥	初期消火体験 ⑦	装備品等炊出し研修 ⑧
区分	時間	10分	15分	15分	15分	15分	15分	15分	15分	15分
庄内まちづくり協議会	1グループ (30名基準)	見学	10:00～10:15	10:15～10:30	10:30～10:45	10:45～11:00	11:00～11:15	11:15～11:30	11:30～11:45	11:45～12:00
	2グループ (30名基準)		11:45～12:00	10:00～10:15	10:15～10:30	10:30～10:45	10:45～11:00	11:00～11:15	11:15～11:30	11:30～11:45
庄内中学校	1年1組		11:30～11:45	11:45～12:00	10:00～10:15	10:15～10:30	10:30～10:45	10:45～11:00	11:00～11:15	11:15～11:30
	1年2組		11:15～11:30	11:30～11:45	11:45～12:00	10:00～10:15	10:15～10:30	10:30～10:45	10:45～11:00	11:00～11:15
	2年1組		11:00～11:15	11:15～11:30	11:30～11:45	11:45～12:00	10:00～10:15	10:15～10:30	10:30～10:45	10:45～11:00
	2年2組		10:45～11:00	11:00～11:15	11:15～11:30	11:30～11:45	11:45～12:00	10:00～10:15	10:15～10:30	10:30～10:45
	3年1組		10:30～10:45	10:45～11:00	11:00～11:15	11:15～11:30	11:30～11:45	11:45～12:00	10:00～10:15	10:15～10:30
	3年2組		10:15～10:30	10:30～10:45	10:45～11:00	11:00～11:15	11:15～11:30	11:30～11:45	11:45～12:00	10:00～10:15
体験者数			全員	5名	5名	5名	9名 (3組)	6名	全員	全員

2019/10/30

訓練計画-19

体験・展示等実施要領

別紙8



2019/10/30

訓練計画-20

資器材等配分計画

別紙9

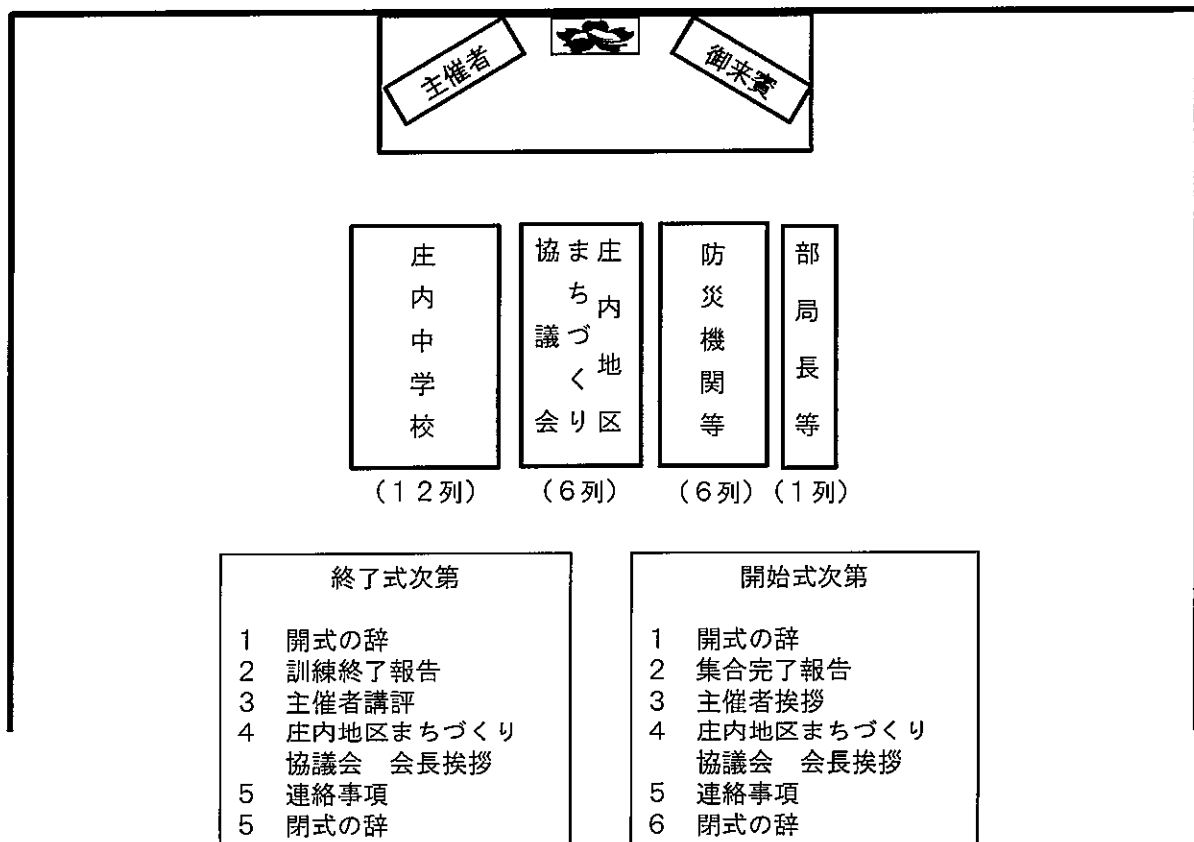
防災機関等名	白色 テント	パーテーション	立て看板	長机	椅子	備考(担当区分)
陸上自衛隊	2	2	2	2		炊出し訓練、装備品等展示
河川国道事務所	1	1	1	1		装備品等展示
宮崎地方気象台	1	1	1	1		装備品等展示
宮崎県都城警察署	1	2	1	1		装備品等展示
宮崎県看護協会		1	1	2		応急救護体験
日赤庄内分団	2		1	6	6	炊出し訓練
西日本電信電話			1			災害伝言体験、装備品等展示
西日本高速道路	1	1	1	1		装備品等展示
九州電力	1	1	1	1		装備品等展示
アマチュア無線クラブ	1	1	1	1		装備品等展示
防災士ネットワーク		2	1	8	24	避難所運営ゲーム
消防団庄内分団	1	1	1			水消火器による消火体験
都城市消防局	2	3	3			緊急通報体験、担架搬送体験、濃煙体験、装備品等展示
まちづくり協議会		1	1	2	4	ボランティア受付
危機管理課		2	1	2	4	避難所体験
合計	13	19	18	28	38	

2019/10/30

訓練計画-21

訓練開始・終了式実施要領

別紙10



2019/10/30

訓練計画-22

訓練実施の判断基準

別紙11

※ 訓練は、雨天決行とする。（中止する場合の基準は、下表による。）

気象現象等とその発生時期	当時の状況	決心時期とその後の訓練要領	
		決心時期	その後の訓練要領
発達した低気圧の接近	風雨が強くなる可能性大	11月15日（金）	予定通り実施（屋外の訓練中止）
訓練当日朝に大雨注意報が発表されている	警報に発展する可能性大	当日午前6時	中止
	警報に発展する可能性少	当日午前6時	予定通り実施（屋外の訓練中止）
訓練中に大雨注意報	大雨警報への発展の可能性大	当時現場での判断	中止
雷注意報の発表	避難訓練前に雷鳴が確認できる	当日午前7時	避難訓練は中止
	避難訓練開始まで雷鳴は未確認	当時現場での判断	予定通り実施
	訓練中に雷鳴	当時現場での判断	屋外における訓練中止
竜巻注意報が発表	発表された場合	発表時に判断	屋外における訓練中止
霧島山「御鉢」に噴火警戒レベル2以上が発表	噴火レベル2（火口周辺規制）が発表	当日午前7時	レベルアップの可能性がなければ予定通り
	噴火レベル3（入山規制）以上が発表	11月15日（金）	中止
新燃岳噴火警戒レベル4以上	特別警報・噴火警報「4以上」が発表	当日午前7時	危険性が少なければ予定通り
地震	市域で「震度3」以下の地震発生	当時現場での判断	訓練の継続（情報収集）
	市域で「震度4」及び、近傍の市町村で「震度5」以上の地震発生	訓練即中止（本部設置）	中止
	市域で「震度5」以上の地震発生	訓練を即中止	中止
中止対象となる屋外の訓練	○安否確認・避難訓練 ○初期消火訓練 ○濃煙体験 ○装備品・パネル展示		

2019/10/30

訓練計画-23

2019/10/30

訓練計画-24

令和元年度 都城市総合防災訓練

とき 令和元年11月17日(日)
ところ 庄内地区体育館・庄内小学校



庄内地区対策本部
(本部長挨拶)



庄内地区対策本部
(市長への状況報告)



バケツリレー初期消火
(庄内中学校生)



訓練開始式



訓練開始式
(市長挨拶)



訓練開始式
(まち協会長挨拶)



救出・救助訓練展示
(消防団庄内分団)



炊出し支援
(庄内中学校生徒)



配食支援
(庄内中学校生徒)



応急担架搬送体験
(担当：消防局)



初期消火体験
(担当：消防庄内分団)



避難所運営ゲーム
(担当：宮崎県防災士)



応急救護体験
(担当：県看護協会)



応急担架搬送体験
(担当：消防局)



濃煙体験
(担当：消防局)



避難所体験
(担当：市役所)



災害伝言ダイヤル体験
(担当：N T T 西日本)



装備品・パネル展示
(担当：各防災機関等)